

(書式 2 - 1)

個人の自己破産申立書

破産宣告申立書

本籍 ○○県○○市○○区○○町○丁目○○番○○号

住所 〒○○○-○○○○

○○県○○市○○区○○町○丁目○○番○○号 (送達場所)

申立人 (債務者) ○ ○ ○ ○



申立の趣旨

債務者〇〇〇〇を破産者とする
との決定を求める。

申立の理由

1 申立人の経歴

平成〇〇年3月31日 〇〇〇〇卒業

平成〇〇年4月1日 〇〇〇〇株式会社入社

平成〇〇年〇〇月〇〇日 自己都合により退社 Asahi Chuo

平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇〇株式会社入社

現在に至る

2 申立人の家族及び生活状況

(1) 家族状況

(2) 生活状況

3 破産に至った事情

4 支払不能

5 よって申立の趣旨記載の決定を求める。

附 属 書 類

- 一 住民票謄本（世帯全員）戸籍謄本（外国人の場合は外国人登録証明書）
- 二 債権者一覧表
- 三 財産目録
- 四 債務者の陳述書
- 五 債務者一覧表
- 六 給料明細票若しくは源泉徴収票
- 七 離職票若しくは退職金支給額証明書
- 八 収支表

平成〇〇年〇〇月〇〇日

申立人 ○ ○ ○ ○

〇〇地方裁判所 第〇〇民事部 御中

解説

(申立人の経歴)

申立人の経歴は、最終学歴以降、主として職歴を書く。申立人の経済状況を、裁判所が理解する為の手掛りとなるためである。

(申立の理由 2 (1) 家族状況)

同居家族の続柄、年齢、収入、就業、就学状況、特に必要あれば健康状態、相続すべきものがあればその状況等を記載する。

(申立の理由 2 (2) 生活状況)

収入、支出の状況（家計表の作成も可）、居住家屋の種類及び状況、公的扶助の有無等を記載する。

(申立の理由 3 破産に至った事情)

サラ金からの借入れの端緒、現在の1ヶ月の金利支払額、債権者数、債権総額等を記載する。

(申立の理由 4 支払不能)

個人の破産原因は、支払不能の事実又はこれを推認する事情としての支払停止の事実である（破産法15条）。

この欄では、支払不能に至った時期、取立の状況、資産の状況（別紙財産目録のとおり、資産合計額は必ず記載）、申立直前（6ヶ月くらい前）に処分弁済したもの等を記載する。

(附属書類六 給料明細票若しくは源泉徴収票)

現在又は過去2年以内に事業を営んでいた人は過去2年分の確定申告書の写しを提出する。

会社代表者の場合は、過去2年分の確定申告書及び決算書の写しを提出する。

